

内閣府  
特命担当大臣表彰  
優良賞

文部科学省推薦

# Palabra株式会社

(東京都新宿区)

## 【概要】

パラブラ  
➤ Palabra株式会社は、視聴障害者団体と共同で長年にわたって映画鑑賞における情報保障の在り方を研究・開発してきた経験をもとに、2013年、バリアフリー字幕・音声ガイドの制作専門とする会社として設立された。従来のバリアフリー映画では、スクリーンに字幕を投影したり、副音声と同時に流す等の対応が一般的で、非常に限られた上映しか出来ていなかったが、同社の取組は、特殊な技術等によって最小限の機器があれば、健常者と障害者が違和感なく一緒に鑑賞可能な工夫をしている。また、「文化芸術をすべての人に開かれたものにする」をスローガンに、現在は映画のみならず、演劇を始めとする文化芸術分野において、バリアフリー化推進のための活動を続けている。

## 【功績・功労】

➤ バリアフリー字幕や音声ガイド制作の際は当事者性と作品性を大切にするため、映画監督やプロデューサー等映画製作者と視聴覚障害者と一緒に検討会を実施する。障害者に伝わりやすく、作品の制作意図や背景を正確に理解して作る字幕や音声ガイドを付与することで、バリアフリー映画の質の向上に努め、年間80本前後の映画作品のバリアフリー化を実施している。



映画字幕(セリフ)



映画字幕(効果音)

「蝶の眠り」©2017 SIGLO, KING RECORDS, ZOA FILMS

- 映画作品のバリアフリー化のため、バリアフリー映画研究会、メディア・アクセス・サポートセンターや各当事者団体とタイアップしながら、メガネ型端末やスマートフォンを使った新しい映画鑑賞システムアプリケーション「UDCast」を開発し、映画館等で字幕や音声ガイド付きで映画鑑賞可能な工夫・取組を実施している。



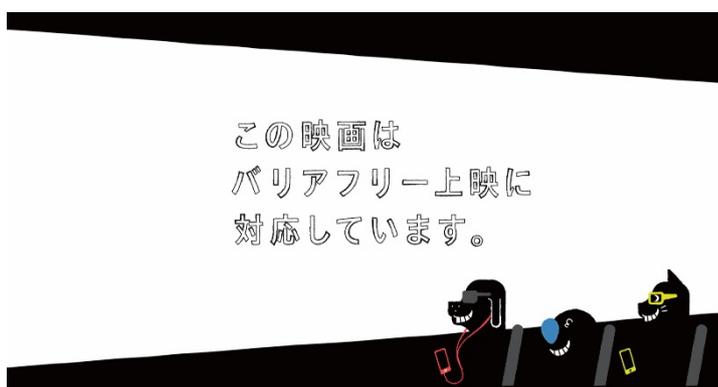
UDCast (初期画面)



UDCast (作品選択画面)



メガネ型端末



バリアフリー上映専用の案内映像

- 長年の映画で培ってきたノウハウを生かし、バリアフリー演劇の制作、コーディネートを実施、視聴覚障害当事者を監修として迎え、作品そのものだけではなく、その前後も含めて鑑賞者が安心して楽しめる場づくりを行い、あらゆるバリアを取り除いた演劇の楽しみ方を進化させている。



演劇での舞台手話通訳



バックステージツアー  
(演劇終了後に視覚障害者が衣装に触れる)

- 今回のコロナ禍を受け、自宅等でのバリアフリー映画の鑑賞ができるよう、バリアフリー字幕・音声ガイド付きの配信や、映画の視聴者がオンライン上で感想を述べあう「オンライン感想共有会」の実施に取り組んだ。